前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

日本エクスラン工業株式会社 所 大阪市北区堂島浜二丁目2番8号 本票作成 部署名:日本エクスラン工業 西大寺工場 工務部 工務部 工場等の名称 所 在 地 同山市東区金岡東町三丁目3番1号 日本 中央 日本 中本 日本 日	氏 (法人にあっては名称)									
本票作成 部署名:日本エクスラン工業 西大寺工場 工務部 主たる業種	タ 日本エク	ロナー カラニン 工光								
主たる業種		型夕 ·	日本ェクスラ、	/ 工 鈭	而大去丁提	// 1	火川北四至 西			
事業の		V NCE				工7万日1				
 概要	主たる業種	コード	11 業種名:	繊維コ	C.業 ————————————————————————————————————					
① 西大寺工場		クリル	繊維生産量:20	0,000t	/年 従業員数	て:300名				
県内の 主 な 工場等	番	:号	工場	易等のタ				· 在	地	
主 な 工場等	(.	① 西	大寺工場			岡口	山市東区金岡	東町三丁	3番1-	号
主 な 工場等	- 県内の									
特定事業者 ②①燃料等原油換算1,500ke以上 □②バス・トラック100台、タウシー250台以上 □③Co.換算3,000t以上 □②co.換算3,000t以上 □②co.換算3,000t以上 □③co.換算3,000t以上 □③co.换算3,000t以上 □②c.换算3 年度) □□·□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	主な									
では、	工場等									
では、										
では、										
の該当要件 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台) 温室効果ガス 排出量 110,619 t CO₂ 94,304 t CO₂ 105,088 t CO₂ 番号 工場等の名称 (平成 29)年度排出量 目標年度(平成 31 年度) ① 西大寺工場 94,304 t CO₂ 105,088 t CO₂ 本 29)年度排出量 10,05,088 t CO₂ 番号 工場等の名称 (平成 29)年度排出量 94,304 t CO₂ t CO₂ またて工場等 1	特定事業者	<u> </u>	然料等原油換算1,	500kℓĻ	以上 🗌 ②バス・	トラック100	台、タクシー250テ	台以上 🗌 🤅	3)CO ₂ 換算3,	000t以上
排出量 110,619 t CO₂ 94,304 t CO₂ 105,088 t CO₂ 番号 工場等の名称 (平成 29)年度排出量 ① 西大寺工場 94,304 t CO₂		(•=	L場等の数		1 所	●車両	j台数(②該	当の場合)		台)
#出量 110,619 t CO₂ 番号 工場等の名称 (平成 29) 年度排出量 (1) 西大寺工場 (1) 西大寺工場 (1) 西大寺工場 (20) 年度	担合禁用式っ	甘潍片	F 连 (亚	左座)	(00)左	· 本41-111 目.	口無欠疾/	ज ्	1 左座)
番号 工場等の名称 (平成 29) 年度排出量 ① 西大寺工場 94,304 t CO2		基华 ²		,,	(半)以					
① 西大寺工場 94,304 t CO2	排出軍	平口.	·		夕 狁	94, 3				t CO ₂
主な工場等 の排出量				易寺(ソン	<u> </u>		(平)及 2	9)年度		+ CO
主な工場等 の排出量		① 四大寺上場				<u>'</u>				
# t CO₂ t	主な工場等									
t CO₂ 計画期間: 平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 (5 箇年度)	の排出量									
計画期間: 平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 (5 箇年度) 演述										
計画期間: 平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 (5 箇年度) 資本										
削減目標の 達成状況										t CO2
達成状況 □ 応排口重基準 (29) 年度前/成美額 目標前/成率 目標達成 □ 原単位基準	当年日事か	計画期	期間: 平	元成 2	27 年度	\sim	平成 31	年度	(5	箇年度)
□ 原単位基準			総排出量基準	(2	.9)年度削	減実績	目標削減	率	目標達	成
(原単位基準 の削減目標を 選択している 場合に記入) 生産数量 (当工場の主たる製品を生産するた めに要するエネルギーの原油換算量を基準と して、製品ごとに換算したものの数値) 生 c02/(千t) は c02/(千t) は c02/(千t) な c02/(千t	X_1/4/\{\pi\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		原単位基準		△ 40.9	%	5. 0	% □ i		☑ 未達
(原単位基準 の削減目標を 選択している 場合に記入) 生産数量 (当工場の主たる製品を生産するた めに要するエネルギーの原油換算量を基準と して、製品ごとに換算したものの数値) 生 c02/(千t) は c02/(千t) は c02/(千t) な c02/(千t		温室効	 果ガスの排出量と?	密接な関	 係をもつ値の内線	容	原単	 位当たり排出	量	
選択している 場合に記入) めに要するエネルギーの原油換算量を基準と して、製品ごとに換算したものの数値) は co2/(千t) は co2/(千t						基图	作年度 (29) 年	度目標	
(該当事業者のみ記入) べンチマーク 対象事業の名称 ベンチマーク指標 関連数値(平成 29 年度) 達成率等	選択している	めに要	「するエネルギー	の原油技	ぬ算量を基準と	3,				
ベンチマーク 対象事業の名称 ベンチマーク指標 関連数値(平成 29 年度) 達成率等	勿口(い記八)	して、	製品ことに換算	したもの	ツツ <u></u> 奴値) 	t CO ₂ /	(千t) t (CO ₂ /(千t)	t CO ₂ /(千t)
							T		<u> </u>	
		対	象事業の名称		ベンチマーク	指標	関連数値	(平成 29	年度)	達成率等
1日宗 27 (人) 1	指標の状況									
【削減状況の自己評価】 	【邓净小小)	の白コ	評価】							

平成29年度の生産量は前年比81%と大きく落込み、再編計画の一環で生産系列も削減された。これの対応として共通設備のミニマム化を推進しているが、当年は案件の立案や計画構築を行ったものの、大きな効果を上げるまでには至っていない。しかしながら今年度は発電設備の更新へ着手し、都市ガスへの燃料転換が完了する見込みである。

【推進体制】

①省エネ対策委員会:工場長を委員長、各部長を委員とする工場全体会議(年2回開催) ②工場長の現場点検:副工場長、環境、工務部長も同行し安全の他、省エネについても点検する(毎週)

③コスト改善委員会:社長出席のコスト低減対策会議。その中で省エネ取組状況や実績の把握を行う

(毎月)

④環境保全委員会:各部の環境改善目標に対する実績把握等を行う、工場長・部長出席の会議(毎月)

【日煙削減率達成のために宝施した堪器及び今後の取組】

【目標削減率達成のために実施	1した措直及び今後の取組】
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
西大寺工場	(平成29年度実施分) (1) アクリル製造工程 ・ED-SPスケールダウン (C02削減量 20t/年) (2) 照明のLED及び自動化 (C02削減量 13t/年) (今後実施予定分) (1) 空気脱湿機 ・省エネ型ドライヤーへ更新(3台目) (C02削減量 78t/年) (2) 発電所設備 ・ガスコージェネレーションシステム導入 (C02削減量 42,920t/年) (4) 計装用空気圧縮機 ・インバーター機台へ更新 (C02削減量 144t/年) (5) 重合設備 ・空調の放熱ロス防止 (C02削減量 7t/年)

▼ → ↓ ↓ , , /□	A 66 pt d- No. 1.	1 65 OF 60 T
【綵杯保	全等败収源系	対策への取組】

県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内で の取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- (1)2010年に自家用車(公用車)1台をハイブリッドカーに更新
- (2)空調用電力・蒸気節減のため、クールビズ・ウオームビズ運動推進 (3)社内環境展を(1回/年)実施、省エネと環境負荷低減を従業員にPR (4)2017年2月 産業廃棄物焼却設備 老朽化により停止